



■使用評価マニュアル:

CASBEE-戸建(新築) 2014年版

評価結果

■使用評価ソフト: CASBEE-DH_NC_2014v1.0

1-1 建物概要			仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 確定 確定	1-2 外観		
建物名称	H-1号地(WC340)					<備考>		
竣工年月	2014年11月	竣工						
建設地	兵庫県芦屋市涼風町							
用途地域	第1種低層住宅専用	確定						
省エネルギー地域区分	6 地域							
構造・構法	鉄骨軸組構法	確定						
階数	2							
敷地面積	201 m ²	確定	評価の実施日	2014年7月1日				
建築面積	78 m ²	確定	作成者	山田欽也				
延床面積	142 m ²	確定	確認日	2014年7月7日				
世帯人数	(4人)	仮	確認者	上村英之				

2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)			2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)			2-3 大項目の評価(レーダーチャート)		
BEE = 3.7 ★★★★☆	A: ★★★★★ B+: ★★★★ B: ★★★ C: ★★			~0% ☆☆☆☆☆ ~50% ☆☆☆☆ ~75% ☆☆☆ ~100% ☆☆ 100%超え ☆		Q1 室内環境を快適・健康・安心にする Q2 長く使い続ける Q3 まちなみ・生態系を豊かにする LR1 エネルギーと水を大切に使う LR2 資源を大切に使いゴミを減らす LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する		
100 50 0	3.0 1.5 0.5	BEE=1.0 S: 66 A: 23 B+: 3.7 B: 23 C: 0	戸建標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の オンサイト手法 ④上記+ オフサイト手法	100% 67% -25% -25%	環境負荷 L 0 50 100	(kg ⁻¹ CO ₂ /年·m ²) -20 0 20 40 60		
このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したもので								

2-4 中項目の評価(バーチャート)			
Q 環境品質	Q のスコア = 4.4	Q2 長く使い続ける	
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする 	Q1のスコア = 4.6	Q2のスコア = 4.3	
4.8 4.5 5.0 4.0	4.6	4.3 5.0 3.5	
暑さ・寒さ 健康と安全・安心 明るさ 静かさ		長寿命に対する 維持管理 機能性	
LR 環境負荷低減性	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする 	LR のスコア = 4.0	
LR1 エネルギーと水を大切に使う 	LR1のスコア = 4.7	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する 	LR3のスコア = 3.5
総合的な 省エネ		地球温暖化 地域環境への 配慮 周辺環境への 配慮	
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする ・断熱等性能等級「4」超え。 ・年間を通じて安定した床下空気を各居室に給気するオリジナル省エネPM2.5対策の換気システムを採用。 ・立地を活かした開放的なプラン。	Q2 長く使い続ける ・軽量鉄骨軸組構法の工業化(フレハブ)住宅。 ・外壁は窯業サイディング材に陶磁器タイル張り。 ・耐震、劣化の軽減、維持管理については、最高等級。 ・4人家族(夫婦+子ども)で居住可能な分譲建売住宅。	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする ・「街なみガイドライン」を設定。一定の条件とルールのもと設計・施工されている。 ・外構、緑化にも配慮。敷地面積に対する緑化率を規定) ・電線類地中化の街。	
LR1 エネルギーと水を大切に使う ・設計一次エネルギー消費量が90%以下。 ・省エネ機器の採用。(ガスコンロ) ・節水型設備(トイレ、食器洗乾燥機)、雨水タンクの設置。 ・HEMS(見える化+AISEG)の採用	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす ・軽量鉄骨軸組構法の工業化(フレハブ)住宅。 ・部材パネルを自社工場で生産し、施工現場にて組立て。 ・自社工場は、品質・環境統合マネジメントシステム運用。(ISO14001取得)	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する ・ライフサイクルCO ₂ は一般的な住宅に対して0%以下。 ・太陽光パネル: 10kW超えの大容量搭載。 ・雨水タンクを設置。	

3 設計上の配慮事項

総合

兵庫県芦屋市の海岸沿いに開発中の分譲住宅団地「パナホームスマートシティ潮芦屋」に建築したスマートハウス。「街なみガイドライン」を定め周囲の環境と調和する街なみ形成にも配慮している。

その他

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

- ・断熱等性能等級「4」超え。
- ・年間を通じて安定した床下空気を各居室に給気するオリジナル省エネPM2.5対策の換気システムを採用。
- ・立地を活かした開放的なプラン。

Q2 長く使い続ける

- ・軽量鉄骨軸組構法の工業化(フレハブ)住宅。
- ・外壁は窯業サイディング材に陶磁器タイル張り。
- ・耐震、劣化の軽減、維持管理については、最高等級。
- ・4人家族(夫婦+子ども)で居住可能な分譲建売住宅。

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

- ・「街なみガイドライン」を設定。一定の条件とルールのもと設計・施工されている。
- ・外構、緑化にも配慮。敷地面積に対する緑化率を規定)
- ・電線類地中化の街。

LR1 エネルギーと水を大切に使う

- ・設計一次エネルギー消費量が90%以下。
- ・省エネ機器の採用。(ガスコンロ)
- ・節水型設備(トイレ、食器洗乾燥機)、雨水タンクの設置。
- ・HEMS(見える化+AISEG)の採用

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

- ・軽量鉄骨軸組構法の工業化(フレハブ)住宅。
- ・部材パネルを自社工場で生産し、施工現場にて組立て。
- ・自社工場は、品質・環境統合マネジメントシステム運用。(ISO14001取得)

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

- ・ライフサイクルCO₂は一般的な住宅に対して0%以下。
- ・太陽光パネル: 10kW超えの大容量搭載。
- ・雨水タンクを設置。